

とよあけ

市議会だより

No.260



TOYOAKE



特集 市民と議会との意見交換会

2025年
2月号

令和6年 12月定例月議会

ちぎり絵
大坪 侑子さん(沓掛町)

市民と議会との意見交換会

令和6年11月



議会ホームページで
報告書を公開
しています



沓掛中学校区

日 時 令和6年11月16日(土)
10時00分～11時30分

場 所 豊明市農村環境改善センター

参加人数 市民4名、議員6名



沓掛中学校区報告書

主な意見から

- 公園管理の評価に対しては一般市民の審査員を入れるべきではないか。
- 公園のイベント情報がこちらにはなかなか伝わってこない。どのようにアナウンスを行っているのか。
- イベントは大きい公園ばかりで行われるが、小さい公園でも検討してほしい。
- 沓掛地区の住民は共生施設(カラット)から離れているために恩恵が少なく感じる。
- 下水道の管理と設備について、震災のことを考えたら金額は高くても地元をお願いした方がいいのでは。
- 発達障がいのある40代以上の就労支援や就職の場所がとても必要だと私は思っているので、議会でできれば取り上げてほしい。



栄中学校区

日 時 令和6年11月24日(日)
10時00分～11時45分

場 所 豊明市立南部公民館

参加人数 市民13名、議員7名



栄中学校区報告書

主な意見から

- 障がいのある子どもたちのため、市内にショートステイができる所の確保や重症心身障がい児や医療的ケアの人を預けられるグループホームが必要。大人用ベッドの設置、障がい児・者の避難先と備蓄品の確保、特別支援学校送迎定期便、入浴できる施設の増設などの支援をしてほしい。
- 町内会の役員など、老夫婦や独居高齢者など是对応できない場合がある。役員任命のガイドライン作成と周知を求めたい。
- 公園の管理状況について、大蔵池公園の管理が雑に感じる。入口の腐葉土も見栄えが悪い。
- 専決処分が可能な限度額の引上げは、市長の権限が増え、議員の仕事が減るのでは。
- 家庭ごみを分別せず、指定日に関係なく出されることがある。ごみの出し方資料のQRコード活用はどうか。
- 南部地域は、図書館の栄分室やJA産直も近しくなくなった。生活環境に不便さがある。
- 区長の仕事が大変である割には手当が少ない。なり手不足にも影響。手当の増額を。



令和6年11月16日(土)、24日(日)に、豊明市議会基本条例に基づき、前年度に引き続き2回目となる「市民と議会との意見交換会」を開催いたしました。

前回同様、議員が3つの中学校区に分かれ、ご参加いただいた市民の皆様と、地域が抱える課題や議会、市政に対するご意見、ご要望などについて意見を交わしました。

各会場とも貴重な意見交換の場となりました。ご参加いただきました市民の皆さんに感謝申し上げます。

お聞きしましたご意見、ご要望等につきましては、今後の議会、議員の活動に活かしてまいります。



豊明中学校区

日時 令和6年11月16日(土)
10時00分～11時30分

場所 豊明市文化会館 第1会議室

参加人数 市民14名、議員7名



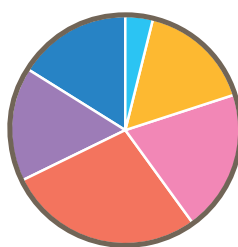
豊明中学校区報告書

主な意見から

- 立ち上がり消火栓の撤去についても、補助金を出してほしい。
- 区の蓄えが少ないので、集会所(旧老人憩いの家)の修繕が行えない。
- 市道の街路樹の落ち葉が多くて困っている。
- 公立保育園や図書館は、指定管理にはしてほしくない。
- 小学校の部活動が廃止されると聞いているが、どのように思われるか。
- 災害に備えて太陽光パネルと蓄電池はセットと考え補助金を出してほしい。

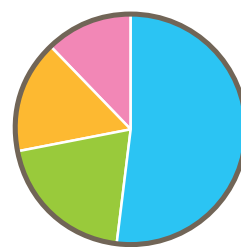
アンケート 結果

年代は？



20代 (1名) 30代 (0名) 40代 (4名) 50代 (5名) 60代 (7名) 70代 (4名) 80代以上 (4名)

内容について



よかった (13名) よくなかった (4名) どちらともいえない (5名) 無回答 (3名)

自由記述欄 より

- 自分の伝えたいことを議員の方にキャッチしていただけたと思うのでよかった。
- もう少し平等に発言する機会があればよかったと思う。
- 自分と同じように考えている住民、議員がいることを知った。異なる意見に触れることができた。
- とてもよかった。会場の中から、市職員を馬鹿にするような意見があり残念であった。市職員はとてもよく頑張っていると思う。

12月定例月議会議案等の審議結果

12月定例月議会は、11月28日から12月20日までの23日間にわたり開催し、議案12件、議員提出議案1件、意見書案1件、請願1件などを審議しました。

※議長は採決に加わらない ○：賛成 ×：反対

議 案 名 (概要)	審 議 結 果	会派名・議員名																			
		清 和							市民派の会		未来クラブ		公明党		共産党	日本	たんぽぽ	清澄	ひまわり	市政	
		岡島 ゆみこ	青木 けんじ	近藤 ひろひで	いとう ひろし	服部 龍一	鶴飼 貞雄	月岡 修一	毛受 明宏	浅井 たかお	こんど のぶお	林ゆき ひろ	中堀り ゆういち	武谷と しお	鈴木 智和	一色美 智子	郷右近 修	ふじえ 真理子	清水 義昭	堀内 ちほ	三浦 桂司
人権擁護委員候補者の推薦 (青木廣康氏(前後町)を推薦、任期は3年)	可決	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市中央児童館、豊明市南部児童館、豊明市北部児童館、豊明市西部児童館及び豊明市ひまわり児童館の指定管理者の指定 (株式会社日本保育サービスを指定)	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○
豊明市コスモス児童館の指定管理者の指定 (株式会社ポピンズエデュケアを指定)	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○
豊明市大宮児童館の指定管理者の指定 (株式会社セリオを指定)	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○
豊明市少人数学級編制の実施に係る任期付市費負担教員の任用等に関する条例の廃止 (少人数学級編制に係る、市費負担教員が県費負担への変更に伴う廃止)	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
豊明市表彰条例等の一部改正 (刑法等改正に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
豊明市下水道条例の一部改正 (下水道法施行令改正に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度豊明市一般会計補正予算(第6号) (心身障がい児通所・居宅サービス事業費等 約8億5,000万円の追加補正等)	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和6年度豊明市介護保険特別会計補正予算(第2号) (施設介護サービス給付費等 約9,000万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度豊明市下水道事業会計補正予算(第1号) (職員給与費 131万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 (放課後児童支援員の人材確保体制の変更)	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
令和6年度豊明市一般会計補正予算(第7号) (放課後児童対策委託事業 約1億3,400万円増額の債務負担行為補正)	可決	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○

報告

専決処分事項の報告 (損害賠償の額の専決処分)	報告は採決を行わないので各議員の賛否はなし
専決処分事項の報告 (令和6年度豊明市一般会計補正予算(第5号)の専決処分)	報告は採決を行わないので各議員の賛否はなし

議員提出議案

豊明市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正 (刑法等改正に伴う改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
--	----	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

主な
議案審査の
中から

何

がどのように

総務委員会

令和6年度豊明市一般会計補正予算(第6号)

1 議案が提出された背景

郵便料金の値上がりに伴い、令和6年10月から翌年3月までに発送予定の郵便物に対する値上げ対応分のための文書費文書事業の通信運搬費、市役所の出入口を中心に防犯カメラを設置するための防犯カメラ設置費、小中学校の荷物用エレベーターを人荷用エレベーターに改修する工事請負費など、様々な補正予算が計上されました。

2 主な答弁

- 防犯カメラは、来庁者の安全を含め、庁舎内のリスク管理のために設置する。カウンターの手続の様子などが映り込まないように最大限配慮する。
- 各学校で、バリアフリー化を進める必要があると考えており、エレベーター整備もその一環である。

健康福祉委員会

児童館の指定管理者の指定

1 議案が提出された背景

市内にある7つ全ての児童館の指定管理期間が令和6年度末で終了し更新時期を迎えるため、令和7年度から令和11年度までの5年間(中央児童館のみ2年間)を、中央児童館・南部児童館・北部児童館・西部児童館及びひまわり児童館は(株)日本保育サービスに、コスモス児童館は(株)ポピンズエデュケアに、大宮児童館は(株)セリオに指定管理者として指定する必要があるため提出されました。

2 主な答弁

- 中央児童館のみ指定管理期間を2年間とするのは、福祉体育館の指定管理の更新時期と合わせるため。
- 北部児童館では通常の利用時間終了後、18時～20時は中高生のみが利用できる時間帯を設ける予定。
- 半年に1度市にてモニタリングを、年1回は指定管理者審査委員会で事業者による運営の評価をしており、今後も指定管理を継続していく考えである。
- 児童館では常に子どもの意見を聞きながら行事を実施。

建設文教委員会

豊明市少人数学級編制の実施に係る任期付市費負担教員の任用等に関する条例の廃止

1 議案が提出された背景

小学校の学級編制の標準の引下げで県費の教員が配置されたことに伴い、35人学級を実現するための市費の教員を雇用する必要がなくなった。そのため、豊明市少人数学級編制の実施に係る任期付市費負担教員の任用等に関する条例を廃止する必要があるため、提出された。

2 主な答弁

- 国が35人学級を進めている中で、愛知県は先駆けて少人数学級を進めているという状況。
- 任期付市費負担教員は、この条例で定めている県の条件に基づくものと同じ条件で雇用している。仮に県に採用された場合でも不利になるようなことはない。
- 令和5年度には市費負担教員が2名いたが、今は県費の教員がいるので配置の問題はない。

決まったのか

賛成!!

反対!!

3 議案に対する主な意見

×の意見

防犯カメラ設置は、市民を監視していると想起させ、設置箇所等含めて再検討していただきたい、反対。

○の意見

防犯カメラ設置について、極めて強い危害を与えるという考えのもとで行動している人が対象なので、賛成。現在、防犯カメラはどこでも設置されており、むしろ遅いくらい。エレベーター使用に関しては有効な利用を要望し、賛成。



賛成多数で可決となりました。市役所庁舎への防犯カメラの設置は、案内などの周知をし、市民のみなさんが安全に来庁いただけるようになります。



3 議案に対する主な意見

×の意見

情報公開について収支や事業計画などが民間ノウハウとって黒塗りになるなどデメリットも大きい。申込みが1団体で競争原理が働かない。全ての児童館が民間移行され、市独自の運営ノウハウがなくなるため、反対。

○の意見

市財政が圧迫される現状では、市直営から指定管理者制度に移行せざるを得ない時期にある。働く人の労働環境への過度な負担やサービス低下につながらないように、しっかりモニタリングすることを要望して、賛成。



賛成多数により可決しました。新たに指定管理者となった事業者の職員は1月から児童館に勤務し、引継ぎを行う予定です。



3 議案に対する主な意見

×の意見

35人学級にしたから廃止という消極的な姿勢でなく、さらなる充実を図るべきと考える。また、一旦廃止をせず、条例の必要な箇所を改正すればよい、反対。

○の意見

使用しない条例というのは一旦廃止したほうがよい。今後必要となったときには、また新たに制定をすればよい、賛成。



賛成多数により、原案のとおり可決されました。この条例は、令和7年3月31日までで廃止となります。



一般質問

行政のいろいろな問題や施策に対する考え方について19名の議員が質問に立ちました。その内容（要約）は次のとおりです（文責は各議員にあります）。詳しくは各議員の欄にあるQRコードから動画をご覧ください。



いとう ひろし 議員

太陽光発電設備の災害における消火活動等の注意事項の周知を

質問の趣旨

自然エネルギーによる発電は環境面では有効で普及が進む一方で、太陽光発電設備からの火災の消火が課題となっている。尾三地区での太陽光発電設備等からの火災件数について伺う。また、消火活動や太陽光パネル落下時の注意点などについて住民へ注意喚起が必要ではないか。

答弁

太陽光パネルによる火災はないが、蓄電池では過去3年間で8件あります。消火の際、消防隊員は10メートル程度の距離を取り放水し、絶縁性手袋の使用等、感電による2次災害対策を講じ活動します。住民へは、放水による消火活動は控え避難を優先する、落下したパネルに近づかないなどの周知を図っていきたい。



コメント

家庭用太陽光発電設備も保守点検が法律で「義務化」されました。全国で電話や訪問等により義務化を強調して、行政から依頼を受けているとか、無料点検等で勧誘して高額な請求をしている悪質な業者が報告されています。契約の際には複数の見積りを取り、信頼できる業者に相談しましょう。

ふじえ 真理子 議員

認知症になっても自分らしく安心して暮らせる豊明に

～本人の意思決定支援・権利擁護の観点から～

質問の趣旨

①認知症は早期発見・早期対応が重要。公費による“もの忘れ検診”の導入②ひとり歩き高齢者見守り事業への事前登録③個人賠償責任保険加入案内の3点を連動させてはどうか。新しい認知症観を広め、成年後見制度の周知を。年齢問わず本人が生前、希望する項目を市に事前登録しておく「終活登録制度」の創設を求めた。

答弁

①科学的にも検証しながら、もの忘れ検診も含め検討中。早期実現に向けていききたい。②③の連動については、今ここで答えることはできない。成年後見制度は利用者数が伸び悩んでいる。市民後見人の登録は現在14人。終活登録制度は市職員だけでやるには難しく、どこと連携していくかも含めて今検討しているところ。



コメント

深夜～明け方の行方不明捜索協力依頼に新聞配達員やコンビニと連携を。認知症の常識の転換期。認知症基本法を踏まえ、本人を中心に理解ある関係者で構成するチームが重要。意思形成→意思表示→意思実現の支援体制充実で障害があっても高齢であっても単身であっても、安心して自分らしく暮らせる豊明に。

三浦 桂司 議員

2025年予算要望について(市長への予算要望から)

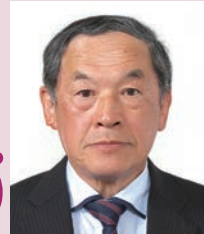
質問の趣旨

災害時やイベントなどにも活用できるトイレトレーラー、トイレカーの必要性を3度にわたり問いかけてきた。避難所等でマンホールトイレだけでは、下水管が破裂していたり、水が確保できないと対応できない場合がある。国もトイレトレーラー等に対して補助金を出す方向なので、豊明市も早急の購入を求める。

答弁

災害時、避難所のトイレ確保は急務であると認識している。能登半島地震においても、トイレカーの必要性は十分認識しているので、前向きに検討していきたい。

豊明市が行った
トイレカー展示



コメント

その他

- ①木造住宅耐震改修費補助
- ②河川周辺の対策強化
- ③田んぼガムの推進
- ④柿ノ木工業団地整備に伴う
市民雇用の拡充
- ⑤道路脇の草刈り強化
- ⑥区長要望工事等の予算増額
- ⑦生活困窮者対策
- ⑧外国籍児童への日本語指導
なども質問しました。

こんどう のぶお 議員

市民と高齢者の健康増進、世代を超えた交流の場を増やそう

質問の趣旨

本市には、老人福祉センターのお風呂が唯一の入浴施設ですが、老朽化を理由に令和6年3月に廃止となりました。お風呂や温水プールは、高齢者の健康づくりに加え、交流や世代を超えたふれあいの場として多くの効果が期待されます。市民の交流、健康増進、高齢者の健康寿命を延ばすために質問をしました。

答弁

お風呂の好きな方はいます。市に寄せられている声は自分の行きたい場所に自由に行きたい。交通手段、交通の足に目を向けられています。80歳以上の方々の希望者にタクシー初乗り運賃の助成をしています。残念ながらお風呂の場がとても多くの人からの要望を受けているという認識は、市長としては全くありません。



コメント

老人福祉センターのお風呂のボイラーは平成4年から交換していません。予防保全で管理しなければならない施設ですが、現在では状態監視保全という形にしているためにこの状態になっているとのことです。市民に誇れる施設に進化させてほしいものです。ほかに、火葬場、墓園等に関する課題も質問をしました。

服部 龍一 議員

市内都市公園の維持管理について

質問の趣旨

市内の都市公園の数多くが築造されてから50年近くたっており、樹木が老木化しているものも多くあります。樹木の伐採や新たな植樹等、今後の維持管理や、公園内に雑草等を回収するコンポストの設置について提案しました。また、今後の公園管理に関する計画についても質問しました。

答弁

公園内の樹木の倒壊の危険については、指定管理者の知見で日常的な点検を実施している。伐採した場合、樹木全てを植樹するのではなく密にならないように植樹する予定。また、植樹する樹木の種類は、今後検討する。公園内の雑草を回収するコンポストは、設置済の公園以外でも必要に応じて設置を検討していく。



コメント

中ノ坪公園のポプラの木は空洞化による倒壊の危険があるということで、伐採をしていただきました。また、井ノ花公園では、ポプラの木の上部剪定が、2年間されておらず剪定を要望したところ、その多くが伐採されることとなり公園管理の方法を確認するため、今回の一般質問に至りました。

武谷 としお 議員

あらゆる災害に対する備え、訓練及び対応について

質問の趣旨

豊明市避難所運営マニュアルに「避難所運営における男女共同参画」の記載がある。その中で東日本大震災の際に避難所において、授乳や着替えの場所がなかったり、「女性だから」と食事の準備や清掃を割り振られた事例が紹介されている。そこで、避難所運営における男女共同参画の促進について伺った。

答弁

男女共同参画に関する項目をマニュアルの中に設け、授乳室や男女別のトイレ、物干場、更衣室、休養スペースなどを設けることや、管理責任者に男女両方を配置することを記載しています。また、今年度から、避難所運営チェックシートを取り入れて、配慮された避難所かチェックできるように体制を整えております。



コメント

これまで避難所での意思決定過程で女性の参画の機会が十分に確保されず、男性と女性のニーズの違いなどが配慮されていない状況でした。これからは、避難所運営や災害から受ける影響の違いなどを十分に配慮することが、災害に強い地域づくりの実現に必要なではないでしょうか。

近藤 ひろひで 議員

「豊明市の高齢者福祉サービス」について

質問の趣旨

様々な高齢者福祉サービスが行われているが、市内の独居老人や高齢者だけでの2人住まいの世帯数はどのような状況か。また、認知症に関わると思われるひとり歩きで、行方不明者が発生したときにはどのように対応しているか。

答弁

75歳以上で独居の方は約1,600人で高齢者世帯は約2,500世帯です。行方不明のご連絡をいただいた場合、同意を得た上で見守りネットワークで配信し、市役所内で情報共有します。市管理の防犯カメラを調べ、警察からの映像提供依頼にも協力します。本年度は行方不明者のご連絡が2件あり、1件は発見されていません。



コメント

豊明市の65歳以上の高齢者は約17,800人で、高齢化率は26%です。認知症による行方不明者は昨年全国で約19,000人、本市でも発生しています。行方不明の捜索は迅速に行われることが前提ですから、市各課の情報の共有並びに警察との連携も大切です。ご家族に寄り添い、早期発見に努めていただきたい。

一色 美智子 議員

認知症介護ケア技法「ユマニチュード」について

質問の趣旨

- ・介護で大事なことは、相手の不安を取り除くことです。あなたを大切に思っていることを「見る」、「話す」、「触れる」、「立つ」の4つの柱で相手が理解できるように届けるケア技法の見解を伺う。
- ・介護施設等への情報提供、啓発活動や研修の促進について。
- ・市民講座の開催について。

答弁

- ・優しさを伝えるケアで、尊厳を大切にし、自分らしく生活することにつながるものと考えております。
- ・市内の介護事業者への情報の提供等をするとともに、機会を捉えて研修会の検討をしております。
- ・市民講座の開催は、チームオレンジとともに協議を検討しております。



コメント

・認知症の人を単に「支える対象」として捉えるのではなく、1人の尊厳ある人として、当事者本人、家族が希望を持って暮らしていくための施策の充実が喫緊の課題です。そのほかに「女性特有のがん検診の拡充」、「インクルーシブ遊具の設置推進」について質問をしました。

青木 けんじ 議員 豊明市の農業について

質問の趣旨

今年是全国的に米不足が騒がれましたが、豊明市内の稲作において害虫や気候の影響はどのような状況であったか。その他の作物についての影響はどうだったか。離農や就農など農業に従事する方々の現状はどうなっているか。農業振興に関しての現状はどうなっているか。何か新しい取り組みはあるか。

答弁

今年度は過去10年の病虫害調査で被害が一番多く、市の補助事業を活用し防除を実施した。他の作物ではヨトウムシによる被害があった。後継者がいない農業者が全体の約60%と深刻な状況。農業振興は、地の利を生かし時代に合った都市近郊農業の維持発展を目指し、生産者の負担軽減をはかる補助事業を2つ実施した。



コメント

農業者の方々のおかげで、新鮮でおいしい農産物が我々の食卓に届けられます。後継者がいない農業者の方が多い中、現在の農業者の方々の負担が減るような支援、新規就農者が増えるよう支援をお願いしたいと思います。豊明産のおいしい農産物が市場に増えることを期待します。



林 ゆきひろ 議員 子育てしやすいまちを目指して

質問の趣旨

本市は人口増を目指して市街地整備を行っていることもあり、子育て世帯が住みやすいよう子育て環境を充実させていく必要があります。潜在的待機児童の解消やこども誰でも通園制度の導入など、第3期子ども・子育て支援事業計画策定に向け、子育て支援策の充実を、ニーズ調査結果を確認しながら、質問しました。

答弁

共働き世帯が増え、3歳未満児の保育需要が高まっている。潜在的待機児童はここ数年は、年50人から100人程度で推移しており、今後、こども園化によって定員を増やしていく。地域ごとの保育量や市街地整備のことも考えながら対応していきたい。こども誰でも通園制度も年度途中で実施できるなら検討していきたい。



コメント

寺池地区では令和7年、8年頃に、間米南部地区では令和9年から11年頃に住宅地ができません。これからの5年間で最重要です。人口増を遂げた明石市や流山市を参考に、子育て支援策を充実させ、ブランディング化する必要があります。その他、市街地開発の進捗状況についても質問しました。



鈴木 智和 議員 認知症の早期診断について

質問の趣旨

認知症の予防対策として、VR仮想現実を導入している自治体がある。認知機能の状態を知る機会として、ヘルスケア機器の導入により認知機能低下の早期発見が可能となり、保健指導等への認識に変化が生まれ、早期に改善することのできる、大変重要な取り組みであると考え。本市でも導入できないか考えを伺う。

答弁

ヘルスケア機器の活用は、簡易な方法で認知機能を評価でき、軽度の認知障害の対策ができる有益な方法の1つではないかと考える。このような機器の導入は、認知症対策の取り組みをさらに推進していく上で必要なことと考える。効果が見込めるなら、本市も導入に向けて進めてまいりたいと考えている。



コメント

軽度認知障害を放置しておくことで1年で5%~15%の方が認知症へ移行するとの報告がある。一方、早くから対策を講じれば、1年で約16%~41%の方が健康な状態に回復すると言われていた。軽度認知障害の早期発見が重要と考える。その他、ひまわりバスへのAIオンデマンドシステムの導入について質問した。



堀内 ちほ 議員

更年期障害について

質問の趣旨

更年期障害は、男女とも症状は類似しているが、男性の場合、女性のように急に症状が現れず、徐々に現れるのが特徴。男性にも更年期障害があることの周知は重要と思う。自らが更年期障害と自覚ができるように、セルフチェックと、間違えやすい病気も併せて、ホームページ等に掲載するお考えは。

答弁

「男性の更年期障害」は男性自身の認知や理解が低いことから、体調に不安があっても、更年期障害に関する症状とは気づかず、受診につながらない可能性が高いと認識している。加齢による変化だと見過ごしてしまうこともあるので、セルフチェック等を掲載するなど、理解促進に取り組み、健康づくりの推進に努める。



コメント

今議会では「更年期障害」と「がん罹患者へのアピアランスケア」について、2つの質問を行った。抗がん剤治療、手術による体の変化、心（気持ち）、金銭的にどのように「寄り添う」ことができるか。実際に、乳がんのため、乳房摘出手術直前の友人との話が質問のきっかけとなった。

浅井 たかお 議員

市内の違法建築の監視はできているか

質問の趣旨

毎年多くの建物が建設されています。建設には建築確認はもちろん、場合により農地転用や開発許可等の手続も必要となります。しかし、これら手続を経ているか疑わしい建築物があるのも事実です。なかでも、周辺住民が建築物による騒音等の被害がある場合、事態は深刻です。監視活動は適切に行われているのでしょうか。

答弁

建築確認が出されていない件数は県でも把握はしていない。市に通報があった際は、まず現地を見に行き、その後、県とのパトロール等、現地確認を行っている。許可権者である県は必要に応じて是正報告を求め、原因者自らは是正するよう指導を行っている。今のところ建築確認が出ていないという件数はない。



コメント

都市計画において、市民が安心して快適に生活ができるように、ルールに基づいて建築することは市民の義務です。それを監視し、指導することは行政の責務です。主体性と責任感をもって愛知県と連携し、建設行政を進めることを求めました。ほかに消防団は災害時に十分機能できるかについて質問しました。

中堀 りゅういち 議員

健康寿命について

質問の趣旨

豊明市は介護予防・日常生活支援事業が功を奏しており、介護認定率は国19%、県18.3%、豊明市17%です。優秀な成果だと思います。しかし団塊世代が後期高齢者となる2025年に医療や介護の需要は急増していくと推察されます。今後は負担軽減につなげていくためにも健康寿命延伸への取り組みをお尋ねいたします。

答弁

まちかど運動教室は、令和5年度に延べ15,365名の方にご参加いただき、また、地域住民が開催するサロンでは、令和5年度に延べ42,000名余りのご参加いただきました。一方では、こうした事業に参加されていない方もお見えですので、昨年度から70歳を迎えられる方にパンフレットを送付し、様々な活動の周知を行っております。



コメント

厚生労働省が公表している「保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金の評価指標と活用方策に関する調査研究」の各市町村の事例を確認しました。事例にある、通いの場や移動支援関係等は、すでに豊明市でも実施しており、保険者機能強化事業がしっかりと取り入れられ、実行されていると感じました。

清水 義昭 議員

協定の締結について

質問の趣旨

本市は平時の活動や有事に対する備えのため等様々な企業や団体と協定を締結しています。協定の締結はどのような基準や判断をもって進められるのか、またどのようなメリットやデメリットがあるのか。協定を締結していることによる成果の検証とともに伺います。

答弁

本市の協定の数は、覚書のようなものも含め280ほどある。協定の締結により市は民間事業者等の強みを生かすことで地域の要望や行政の課題に対するサービスを提供でき、民間事業者や団体は地域貢献による宣伝効果や新しい社会課題への挑戦につながると言うメリットがあると考えられる。



コメント

協定の締結に対する市の認識と状況について6つの視点から質問をしました。その他、市役所や学校、保育園における安全確保体制についても質問しています。ぜひとも上の二次元コードを読み取っていただき質問の動画をご覧くださいと思います。



月岡 修一 議員

豊明市と豊根村との合併を検討していただきたい

質問の趣旨

豊明市と豊根村は友好自治体宣言に調印してから47年の歴史が刻まれてきました。豊根村のすばらしい自然環境を堪能し、よき思い出となっている豊明市民は多いと思います。その豊根村は人口減少が止まりません。そこで豊明市と豊根村が共に成長する手段として「飛び地合併」に向けて検討していただきたい。

答弁

一般的に合併が求められる背景として、生活圏の広域化への対応、少子高齢化への対応等地方分権の推進、効率性の向上などが求められる。飛び地での合併を考えた場合、車で2時間の距離にある豊根村との合併が合理的であるかという点と少し難しい。豊根村との連携を深めていくことがよいのではないかと考えている。



コメント

人口減少が進む豊根村との共存共栄を勘案したときに飛び地合併を推進してでも、豊根村の存在価値を失わないようにすべきです。たくさんの小中学生が豊根村でのキャンプを体験する中で、豊根村の方々にお世話になってきました。今こそ豊明市が豊根村のために一念発起すべきではないかと考えています。



鵜飼 貞雄 議員

家庭排水対策及び合併処理浄化槽補助金について

質問の趣旨

持続可能な社会に向けて環境負荷の低減を図っていくには、行政と市民が力を合わせることが大切です。生活排水による公共用水域の水質汚濁防止のため、下水道が整備されていない地域では、浄化槽がその役割を担っており環境衛生向上のため「単独浄化槽」から「合併処理浄化槽」への転換も重要となっています。

答弁

今回の質問での指摘も踏まえ、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換を積極的に促していくために、自己負担が軽減されるような補助制度について、既に合併処理浄化槽をお使いいただいている市民の皆さまの維持管理についてのご負担を一定程度軽減できるような補助制度と併せて、最大限検討します。



コメント

豊明市下水道事業経営検討委員会からの答申の付帯意見にも、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進する支援策の拡充を検討するとあります。今回の質問で、補助制度の拡充を進める旨の答弁をいただいたことで、公共用水域の水質がさらに改善され市民の安全・安心につながるよう期待します。



岡島 ゆみこ 議員

境川水系皆瀬川河川整備について

質問の趣旨

皆瀬川の管理や前後駅から坂畑公園までの歩道について質問しました。川を見ると河床に堆積した土砂や護岸に草木が繁茂し、ガードレールにも覆いかぶさるなど、防災・防犯の観点から課題を感じます。また、学校行事での河川清掃、皆瀬川左岸の歩道を梶田橋までの延長、買収済みの道路用地の活用を提案しました。

答弁

皆瀬川の堆積土、草、雑木などの除去は管理者である県に継続して要望していく。河川清掃活動は学ぶ機会としてよい取り組みだが、安全面が最優先、現時点で実施は難しい。皆瀬川は県へ河道の拡幅改修実施を優先に要望しており、歩道は設置を研究する。また、買収済みの道路用地の有効活用を考えていく。



コメント

皆瀬川の整備は利便性に加え、情緒や景観、安全性が重要です。また、坂畑公園から続く遊歩道を整備することで、人々が集まり交流できる場が創出され、健康増進にも寄与します。安心安全で犯罪のないまちを維持するためにも皆瀬川左岸に遊歩道を整備することを要望します。



郷右近 修 議員

安心して介護が受けられる制度に

質問の趣旨

在宅のサービスを十分提供できることがより重要になってゆく。本市が、介護保険に対する国の負担割合を50パーセントに引き上げるよう要求の運動の先頭に立つべきではないか。豊明市で介護を理由とした離職者は何人いるか。市内事業者の介護職員の処遇改善に対する意見はつかめているかについて質問した。

答弁

介護保険の国の負担割合を引き上げていただくということについては、賛同する。介護離職者の正確な数は分からないが、令和4年度の調査で主な介護者の3.7%が仕事を辞めたと回答している。処遇改善について市内事業者の介護職員から意見はない。



コメント

自宅で介護を受ける要介護3以上の人の数は分からないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅を含む数で634人という答弁があった。在宅介護の実態や訪問介護の事業者の意見が分からないのは、介護保険を互助とする国の誤りが原因と考える。被保険者ではなく、国の介護保険負担増が不可欠。



Topics

友好自治体議員合同研修会 令和6年 10/23・24

10月23日、24日に第15回友好自治体議員合同研修会を開催し、上松町からは7名の議員の皆さんが豊明市に來訪されました。

上松町は、長野県の南西部に位置する森林産業を中心とした成り立ちを持つ森林の町です。町の東端には中央アルプス最高峰の木曾駒ヶ岳がそびえ、町のほぼ中央を木曾川が流れています。

また、浦島太郎伝説が残る景勝地の「寝覚の床」、日本で最初に指定を受けた森林セラピー基地の1つである「赤沢自然休養林」を有しています。

1日目に市役所で行われた意見交換会では、上松町議会の永井嘉男議長から、本市との友好自治体調印式が平成14年11月12日に行われてから、22年間友好関係

が継続していること、コロナ禍もあり本市への来訪が8年ぶりであることに感慨深いとのこと挨拶をいただきました。2日目は、本市の正副議長が同行し、豊明・東郷グリーンセンター「Love it To²」と、共生交流プラザ「カラット」を視察し、新たにできた市民活動拠点などを見学され帰郷されました。上松町・豊明市の交流がさらに深まった研修会でした。



総務委員会視察報告

委員長 中堀 りゅういち 副委員長 岡島 ゆみこ
委員 郷右近 修 林 ゆきひろ 月岡 修一 毛受 明宏

令和 10/28・29
6年

■東京都東村山市 東村山市役所

「公園の指定管理者による管理」について伺った。現状160を超える公園が設置されているが、十分に活用できていないことから本事業の導入に至った。市民協働及びPark-PFIの導入により民間ノウハウを活用し、地域の現状や利用者のニーズを踏まえた利用者目線での公園管理を目標としている。指定管理者の事業評価では「よい」が33%、「悪い」が5%と一定の評価は得られており、効果的に運営されていることが確認できた。しかし、本市が課題と位置づけていた草刈りの問題に関しては、東村山市でも課題となっていた。豊明市においても市民の皆様と共に公園づくりに尽力していくことが重要であると感じた。

■茨城県牛久市 牛久市役所

監督職員に与えられる権限や職務、契約図書や関係法令等の理解を促し、適切に監督を行うための資料である、「牛久市 建設工事における監督職員の職務及び検査の着眼点」について伺った。監督職員25名のうち有資格者が17名在籍し、工事計画の確認、業者との連携、現場巡視、検査業務の実施体制が整えられており、本資料は工事監督経験の少ない職員の立会時の管理基準として活用されている。豊明市でも適切な施工方法や検査において多様な着眼点が必要になる。同様の資料の作成を検討してもよいのではないだろうか。



健康福祉委員会視察報告

委員長 ふじえ 真理子 副委員長 青木 けんじ
委員 浅井 たかお 三浦 桂司 一色 美智子
堀内 ちほ

令和 10/16・17
6年

■神奈川県横須賀市 横須賀市役所

【エンディングプラン・サポート事業について】

2つの終活支援。①「エンディングプラン・サポート事業」は、民間では支援できない孤立状態の低所得者の方が対象。希望者は協力葬儀社と生前契約（27万円）し、市職員が電話と訪問支援で安否確認する。死後は収骨・納骨まで寄り添う。②「わたしの終活登録事業」は緊急連絡先・遺書の保管先・葬儀の生前契約等の終活情報を事前に市へ登録。救急搬送時や死亡時などに救急隊・警察・病院からの問合せに迅速に市が対応できる。希望する全市民が対象で、登録は無料。



■東京都西東京市 西東京市役所田無庁舎

【eスポーツを活用したフレイル予防について】

西東京市版地域包括ケアシステムとして、フレイル予防を重点施策としている。フレイル（虚弱）の状態とは単に身体機能の活力低下だけではなく、精神・心理・社会性の3つが重なり合う。フレイル状態の最初のきっかけは社会性の低下。予防には人とのつながりが重要。高齢者にとって太鼓ゲームや運転ゲームなどのeスポーツは操作がうまくなくても、足が悪くても楽しめる。市主催のイベントや福祉会館等で連続講座を実施。社会参加の機会として有効。



建設文教委員会視察報告

委員長 服部 龍一 副委員長 武谷 としお
委員 鈴木 智和 こんどう のぶお いとう ひろし
鵜飼 貞雄 清水 義昭

令和 10/29・30
6年

■静岡県静岡市 静岡市役所静岡庁舎

中学校の部活動改革として、行政・学校・関係団体・民間など静岡市総がかりで取り組む社会課題解決についての視察を行った。①少子化による影響、②子どもたちのニーズ、③共働きや核家族化等の環境の変化から、保護者の役割を見直す必要がある、などの現在の部活動を取り巻く状況について伺った。そこで静岡市では市が主体となり、部活動に代わる受け皿として「シズカツ」（近隣校単位で「エリア」ごとに区分し、市が中心となって運営する部活動とは異なる地域クラブ活動）の設置を目指している。令和8年度には、全ての学校で休日の部活動を、将来的には平日も含めた全ての部活動の「シズカツ」への移行を検討している。

■静岡県沼津市 沼津市役所

沼津市が取り組む、自分たちの未来の暮らしをつくるための、リノベーションまちづくり推進事業についての視察を行った。市内で増加する空きビルなどの民間遊休不動産や利用度の低い公共施設の活用を通じ多くの市民にとって楽しい街に生まれ変わることを目標にしている。2023年度で9年目を迎え、遊休ビルを活用した人や活動を集める取り組みなどを通じ、75件の新たな事業が誕生している。主な事例として、狩野川沿いの空き家をリノベーションし、沼津の農産物を使用したクラフトジンを生産する蒸留所がある。



議員全員で、消火栓取り扱い訓練を実施しました。



11月22日、本市の防災防犯対策課職員を講師に、消火栓からホースを出し、放水する手順を学びました。

何かあったとき「どうしよう?」では遅く、日ごろからの準備の大切さを感じました。

豊明市内在住・在学・
在勤の方から、
表紙を飾る写真・
絵画・イラストを

募集します。

ご応募
お待ちしております！

宛 先 〒470-1195

豊明市新田町子持松1番地1
豊明市議会 議会だより編集委員会

メール gikai@city.toyoake.lg.jp

豊明市にゆかりのあるものや、
季節感のある作品をお待ちし
ております。

氏名・住所・電話番号・作品のタイトル、写真の場合は撮影場所・日時を明記の上、お送りください。

作品は直接お持ちいただくか、郵送またはメールでお送りください。メールの容量は5MBまでです。現物の場合、返却のための発送はいたしませんので、掲載日から2カ月以内に引き取りにお越しください。以降は処分させていただきます。

ご自身が撮影、制作された、他の場で受賞していない作品に限ります。顔がはっきり分かる人物が写っている場合は本人(未成年者の場合は親権者)の許可を得ておいてください。

なお、表紙作品には題字等がかぶること、トリミング等を行う場合もあることをご了承の上、ご応募いただきますようお願い申し上げます。

表紙は議会だより編集委員会を選定し、採用された方にはご連絡いたします。5月1日発行分の締切は3月7日(金)です。

※詳しくは豊明市議会のホームページをご覧ください。

令和6年 議会の活動状況

●議会活動の概要

豊明市議会では平成24年に議会基本条例を制定し、通年議会を実施しています。令和6年5月15日から令和7年4月28日までの349日間が令和6年定例会の会期となっています。このほかに「議会運営委員会」や「全員協議会」なども随時開きました。

また、令和6年1月1日から12月31日までに議会で審議した議案は、市長提出案件が88件、議員提出案件が10件であり、提出された請願が5件、陳情が13件でした。

1. 本会議開催状況

会 議 名	議会期間	日 数	本会議日数	傍聴者数
1 月 緊 急 議 会	1月23日	1日	1日	2人
3 月 定 例 月 議 会	2月26日～3月25日	29日	6日	95人
開 会 議 会	5月15日	1日	1日	1人
6 月 定 例 月 議 会	6月4日～6月25日	22日	6日	35人
9 月 定 例 月 議 会	8月28日～9月24日	28日	6日	26人
1 2 月 定 例 月 議 会	11月28日～12月20日	23日	6日	33人
合 計		104日	26日	192人

2. 委員会等開催状況

委 員 会 名	開催数
常 任 委 員 会	27回
特 別 委 員 会	6回
議会運営委員会	28回
全 員 協 議 会	12回
会 派 会 議	12回
常任・特別委員会 行政視察	7日
その他の会議	71回

3. 議決状況

市 長 提 案			議 員 提 案		
地 方 自 治 法 第 9 6 条 関 係 (15号を除く)	条 例	36件	条 例	2件	
	予 算	24件	規 則	0件	
	決 算	8件	修 正 議 案	0件	
	そ の 他	8件	意 見 書	5件	
専 決 承 認 案 件		0件	決 議	3件	
そ の 他（人事案件等）		12件	そ の 他（動議）	0件	
合 計		88件	合 計	10件	
議 決 状 況	可 決	79件	議 決 状 況	可 決	8件
	修 正 可 決	0件		否 決	2件
	否 決	0件			
	認定・同意等	8件			
	撤回承認	1件			
	継続審査	0件			

日	月	火	水	木	金	土
2/23 天皇 誕生日	24 振替休日	25	26 本会議 (議案上程、提案説明)	27	28 本会議 (一般質問)	3/1
2	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7	8
9	10 本会議 (議案質疑、委員会付託)	11 総務委員会	12 健康福祉委員会	13 建設文教委員会	14 予算特別委員会	15
16	17 予算特別委員会	18 予算特別委員会	19	20 春分の日	21	22
23	24	25 本会議 (委員長報告、討論、採決) 全員協議会	26	27	28	29

※上記は予定のため、日程等が変更される場合があります。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

どなたでも 傍聴 できます。



【本 会 議】：市役所本館4階 議場10時から
【委 員 会】：市役所新館4階 第1委員会室10時から
【一般質問】：発言順は市議会のホームページで公開します。



本会議や委員会の模様を
インターネットで録画配信中

豊明市議会ホームページ▶本会議・委員会録画中継・質疑や答弁の詳細については、会議録で全文を確認できます。会議録は、市役所4階議会図書室、市役所1階市民コーナーで閲覧できます。また、市議会のホームページでの会議録検索システムをご利用ください。

市政に関する 要望



市政に関する要望等を議長あてに文書で直接議会に提出することができます。

請願・陳情の提出

請願書・陳情書は、議会事務局で受付しています。事務処理の都合により各定例月議会の初日の7日前までの提出にご協力ください。

提出後の流れ

- 請願(紹介議員が必要)
- 陳情(紹介議員必要なし)
事務局に持参されたもの

委員会審査

本会議で決定

編 集 後 記

今回の特集ページは、11月に開催した「市民と議会との意見交換会」をテーマに取り上げました。

この会は、前年度に引き続き2回目の開催です。中学校区ごと3カ所に分かれ、地元の方々のお困りごとや市議会議員への要望などをお聞きすることを趣旨として開催しています。当日は様々なご意見を聞くことができました。ご参加いただいた方におかれましては、この場を借りてお礼申し上げます。(服部)

発行：豊明市議会
編集：議会だより編集委員会

電話：0562-92-1121

メール：gikai@city.toyoake.lg.jp

詳しい情報は豊明市議会
ホームページをご覧ください。

豊明市議会 検索



市議会HP

次の議会だよりは5月1日発行